

きゅうり特報 No.8

2025 年 9 月 1 日

JA 中野市園芸課

JA 中野市きゅうり部会

生育観察及び病害虫発生状況の確認を行い、防除間隔が空かない様に定期散布を実施して下さい。

露地作型

【 9 月中旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り	月 日 ℓ
	展着剤(まくぴか) 30ml モレスタン水和剤 50g	
散布量	300L/10a	
適用病害虫	うどんこ病、コナジラミ類	

【 9 月下旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り	月 日 ℓ
	展着剤(まくぴか) 30ml トップジン M 水和剤 66g	
散布量	300L/10a	
適用病害虫	炭そ病、つる枯病、うどんこ病、菌核病、黒星病、灰色かび病	

～今後の管理～

- ①秋雨が増え、気温も下がってくるので「べと病」の発生が心配されます。
発生を心配される方は「ダコニール 1000 1,000 倍」を散布して下さい。
発生が見られる場合は「ドーシャスフロアブル 1,000 倍」を散布して下さい。
- ②収穫後半になり変形果が増えています。発生要因に応じて対策して下さい。
 - ・ニンジン型(尻細果)、細長い実、曲がり果 ⇒ 水分不足 対策：かん水の実施
 - ・曲がり果、尻太果(中間細い) ⇒ 成り疲れ 対策：追肥の実施、摘果、かん水
 - ・くびれ果 ⇒ ホウ素欠乏、水分不足 対策：葉面散布実施(ホーロン)、かん水
- ③「炭そ病」や「褐斑病」が発生しています。拡大防止のため葉を取ると、光合成量が減り、曲がり果などの変形果が増えやすくなります。曲がりのきつい実などは早くから摘果してください。新しい葉や脇芽を伸ばすには、かん水や土壌灌注(発根材)が有効です。